

リンゴ極早生種 ‘あおり11’

研究のねらい

‘祝’、‘旭’に替わる早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味の良い極早生品種として選抜された。

組み合わせ：‘北の幸’×‘ジャージーマック’

交 配 年 次：1978年(昭和53年)

登 録 出 願：2001年(平成13年)3月

樹 の 性 質：樹姿は開張性で、樹勢はやや弱い。斑点落葉病には‘ふじ’より強い。早期結実性であり、豊産性である。

収 穫 時 期：8月中旬。収穫前落果がややみられる。熟期が不揃いなので、2～3回に分けてすぐりもぎをする必要がある。

果 実 特 性：大きさは250g前後である。果皮色は紅色で縞が不明瞭に入る。果形は円～長円形。食味はやや酸味を感じるものの、甘酸適和である。貯蔵性は常温で5日程度、冷蔵で2週間程度である。



発表資料

1. 育種部 (2001). りんご育成系統「あおり11」の特性. 平成13年度指導奨励事項・指導参考資料：80-81.
2. 工藤 剛 (2001). 県りんご試育成系統「青り15号」及び極早生青り系統の特性. 季刊りんご技術 65：16-17.
3. 今 智之 (1999). 極早生系統「青り11、12、16号」の特性. 季刊りんご技術 61：15-16.